

**今村総合病院
いづる今村病院
下稲葉病院**

病床削減支援給付金 ③ いづろ今村病院

医療機関名	所在地(住所)		
公益財団法人慈愛会 いづろ今村病院	鹿児島市堀江町17-1		
開設者名	事務担当者		
理事長 今村英仁	所属・役職・氏名	佐々木大輔	
	電話番号	099-251-2221	
	メールアドレス	dsasaki@iaikai.jp	

■事業計画額算定シート

病床を削減した日 (又は削減予定日)	令和3年3月31日
-----------------------	-----------

1	稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※2)の合計
								① 平成30年度病床機能報告
② 令和2年4月1日時点(※1)			77	53		130	77	
③ 支給対象病床算定基準=②		0	77	53	0	0	130	77

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は、変更前の病床数を記載すること。

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	病床削減後の許可病床数 (=病床削減後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計

3	他の病院等への移転病床数※3	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計	

※3 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転されている場合に記載すること。
また、「(参考)病床移転にかかる概要」シートに関連する病院等の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
				0

5	削減病床数 (1③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち支給対象病床数
								0

6	許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
								① 平成30年度病床機能報告
② 令和2年4月1日時点			77	53		130	77	

7	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
					① 平成30年度病床機能報告(※4)
② 令和2年4月1日時点			25,347		25,347

※4 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)÷報告可能な対象期間(月単位)×12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用	適用する 病床稼働率
	A 平成30年度病床機能報告	79.5%	73		
B 令和2年4月1日時点	90.2%	69		B	

9	削減前の対象3区分の稼働病床数から一日平均実働病床数までの削減分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	18,240

10	一日平均実働病床数から削減後の対象3区分の許可病床数までの削減分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	15,960

要件 審査	90%削減チェック	○
----------	-----------	---

11	支給申請額(千円)	34,200
----	-----------	--------

病床削減支援給付金 ④ 下稲葉病院

医療機関名	所在地(住所)		
下稲葉病院	鹿児島市山之口町6-3		
開設者名	事務担当者		
院長 下稲葉 耕生	所属・役職・氏名	牧野田 栄一	
	電話番号	099-226-2322	
	メールアドレス	uroshimoinaba@cap.bbq.jp	

■事業計画額算定シート

病床を削減した日 (又は削減予定日)	令和3年3月31日
-----------------------	-----------

1	稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※2)の合計
								① 平成30年度病床機能報告
② 令和2年4月1日時点(※1)			60				60	60
③ 支給対象病床算定基準=②	0	60	0	0	0	60	60	

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は、変更前の病床数を記載すること。

※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	病床削減後の許可病床数 (=病床削減後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
			0			0	0	0

3	他の病院等への移転病床数※3	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
			14			14

※3 病院統合や地域医療連携推進法人の病床融通制度等を活用し、他の病院等へ病床が移転されている場合に記載すること。
また、「(参考)病床移転にかかる概要」シートに関連する病院等の病床数を記載すること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	削減病床数 (1③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち支給対象病床数
		0	60	0	0	0	60	60

6	許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
								① 平成30年度病床機能報告
② 令和2年4月1日時点			60				60	60

7	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
② 令和2年4月1日時点			2,546		2,546

※4 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)÷報告可能な対象期間(月単位)×12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
	A 平成30年度病床機能報告	12.2%	7	
B 令和2年4月1日時点	11.6%	6		

9	削減前の対象3区分の稼働病床数から一日平均実働病床数までの削減分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		1,140	60,420

10	一日平均実働病床数から削減後の対象3区分の許可病床数までの削減分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	15,960

要件 審査	90%削減チェック	○
----------	-----------	---

11	支給申請額(千円)	76,380
----	-----------	--------

医療機関統合支援給付金 ⑤ 今村総合病院, いづろ今村病院, 下稲葉病院

1. 申請者の情報

申請年月日		2020 年 12 月 11 日
フリガナ	コウエキザイダンホウジンジアイカイ イマムラソウゴウビョウイン	住所・所在地 〒 890 - 0064 鹿児島市鴨池新町11-23
代表病院の名称	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	
フリガナ	リジチョウ イマムラヒデヒト	事務担当者 氏名 佐々木 大輔 電話番号 099-251-2221 ファクシミリ 099-250-6181 電子メール dsasaki@jiaikai.jp
開設者 <small>(代表者の職・氏名も記載)</small>	理事長 今村英仁	

2. 統合関係病院等の情報

(1) 統合関係病院等の情報 (各病院等の支給申請額算定シートから転記)

番号	代表病院	病院等の名称	開設者氏名	代表病院の住所・所在地			
I	○	同上	同上	同上			
構想区域		統合後の状況	平成30年度病床機能報告における稼働病床数				
鹿児島	存続	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
		351	103	212	36	0	0

番号	代表病院	病院等の名称	開設者氏名	統合関係病院等の住所・所在地			
II	△	公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院	今村 英仁	鹿児島市堀江町17-1			
構想区域		統合後の状況	平成30年度病床機能報告における稼働病床数				
鹿児島	存続	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
		130	0	77	53	0	0

番号	代表病院	病院等の名称	開設者氏名	統合関係病院等の住所・所在地			
III	△	下稲葉病院	下稲葉 耕生	鹿児島市山之口町6-3			
構想区域		統合後の状況	平成30年度病床機能報告における稼働病床数				
鹿児島	廃止(無床診療所化)	総病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等
		60	0	60	0	0	0

(2) 統合完了予定日

2021 年 3 月 31 日

(3) 重点支援区域における統合計画(プルダウンで選択)

非該当

※ 重点支援区域申請において「再編統合(機能連携等を含む)の対象となる医療機関」として位置付けた医療機関がすべて含まれている統合計画である場合は「該当」、そうでない場合は「非該当」を選択すること。

3. 支給申請額

支給申請額(千円)	52,440
-----------	--------

■支給申請額算定シート

番号	代表病院の名称	開設者氏名	代表病院の住所・所在地
I	公益財団法人慈愛会 今村総合病院	理事長 今村英仁	鹿児島市鴨池新町11-23
	構想区域	統合後の状況	
	鹿児島	存続	

1	稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※2)の合計
		① 平成30年度病床機能報告	19	281	36			336
	② 令和2年4月1日時点(※1)	103	212	36			351	315
	③ 支給対象病床算定基準=①	103	212	36	0	0	351	315

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	統合後の許可病床数 (=統合後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
		103	227	50		0	380	330

3	他の統合関係病院等間の 移転病床数※3	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
			-15	-14		-15

※3 他の統合関係病院等から移転を受けた病床数はマイナス表記、他の統合関係病院等へ移転した病床数はプラス表記とすること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	削減病床数 (1③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち支給対象病床数
		0	-15	-14	0	0	-29	0

6	許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
		① 平成30年度病床機能報告	19	281	36			336
	② 令和2年4月1日時点	103	212	36			351	315

7	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※4)	6,254	85,084		91,338
	② 令和2年4月1日時点	33,782	63,531		97,313

※4 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)÷報告可能な対象期間(月単位)×12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用	適用する 病床稼働率
	A 平成30年度病床機能報告	83.4%	250		
	B 令和2年4月1日時点	84.6%	266		
					A

9	削減前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの削減 分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,052	0

10	一日平均実働病床数から削減後の 対象3区分の許可病床数までの削減 分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	0

11	重点支援区域における統合計画	非該当	× 1.0
----	----------------	-----	-------

12	支給申請額(千円)	0
----	-----------	---

■支給申請額算定シート

番号	統合関係病院等の名称	開設者氏名	統合関係病院等の住所・所在地
II	公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院	今村 英仁	鹿児島市堀江町17-1
	構想区域	統合後の状況	
	鹿児島	存続	

1	稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※2)の合計
	① 平成30年度病床機能報告		92	53			145	92
	② 令和2年4月1日時点(※1)		77	53			130	77
	③ 支給対象病床算定基準=②	0	77	53	0	0	130	77

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	統合後の許可病床数 (=統合後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
				62	53		0	115

3	他の統合関係病院等間の 移転病床数※3	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
				15		

※3 他の統合関係病院等から移転を受けた病床数はマイナス表記、他の統合関係病院等へ移転した病床数はプラス表記とすること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	削減病床数 (1③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち支給対象病床数
			0	15	0	0	0	15

6	許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		92	53			145	92
	② 令和2年4月1日時点		77	53			130	77

7	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※4)		26,708		26,708
	② 令和2年4月1日時点		25,347		25,347

※4 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)÷報告可能な対象期間(月単位)×12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用する 病床稼働率
	A 平成30年度病床機能報告	79.5%	73	
	B 令和2年4月1日時点	90.2%	69	

9	削減前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの削減 分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	0

10	一日平均実働病床数から削減後の 対象3区分の許可病床数までの削減 分に係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	0

11	重点支援区域における統合計画	非該当	× 1.0
----	----------------	-----	-------

12	支給申請額(千円)	0
----	-----------	---

■支給申請額算定シート

番号	統合関係病院等の名称	開設者氏名	統合関係病院等の住所・所在地
Ⅲ	下稲葉病院	下稲葉 耕生	鹿児島市山之口町6-3
	構想区域	統合後の状況	
	鹿児島	廃止(無床診療所化)	

1	稼働病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち対象3区分(※2)の合計
	① 平成30年度病床機能報告		60				60	60
	② 令和2年4月1日時点(※1)		60				60	60
	③ 支給対象病床算定基準=②	0	60	0	0	0	60	60

※1 各機能ごとの数値については、地域医療構想調整会議にて確認されていること。
令和2年4月1日時点で病床数の変更があった場合は、変更前の病床数を記載すること。
※2 対象3区分=高度急性期、急性期、慢性期(以下同様)

2	統合後の許可病床数 (=統合後の稼働病床数)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
				0			0	0

3	他の統合関係病院等間の 移転病床数※3	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	対象3区分の合計
				14		

※3 他の統合関係病院等から移転を受けた病床数はマイナス表記、他の統合関係病院等へ移転した病床数はプラス表記とすること。

4	対象3区分から 回復期又は介護医療院へ 転換した病床数	回復期	介護医療院	合計
		0		0

5	削減病床数 (1③-2)	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計	うち支給対象病床数
			0	60	0	0	0	60

6	許可病床数	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	合計	うち対象3区分の合計
	① 平成30年度病床機能報告		60				60	60
	② 令和2年4月1日時点		60				60	60

7	対象3区分の病棟の 年間在棟患者延べ数(人)	高度急性期	急性期	慢性期	合計
	① 平成30年度病床機能報告(※4)		2,665		2,665
	② 令和2年4月1日時点		2,546		2,546

※4 対象3区分の病棟に係る平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)の(48)欄の数値を計上すること。なお、平成30年度病床機能報告の報告様式1(病棟票)において、「過去1年間の間に病棟の再編・見直しあり」と報告した病棟の年間在棟患者延べ数については、以下の式により補正して計上すること。

○ 補正後の年間在棟患者延べ数=年間在棟患者延べ数((48)欄に記載された数値)÷報告可能な対象期間(月単位)×12

(注) 報告可能な対象期間(月単位)は、平成30年度病床機能報告で報告した月数とすること。

例) 報告可能な対象期間を「平成29年7月1日～平成30年12月末日」とした場合 ⇒ 報告可能な対象期間(月単位)=6

8	<選択>	対象3区分の病床稼働率	一日平均実働病床数	適用
	A 平成30年度病床機能報告	12.2%	7	
	B 令和2年4月1日時点	11.6%	6	

9	削減前の対象3区分の稼働病床数 から一日平均実働病床数までの削減分に 係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		1,140	52,440

10	一日平均実働病床数から削減後の 対象3区分の許可病床数までの削減分に 係る支給額	単価(千円)	支給額(千円)
		2,280	0

11	重点支援区域における統合計画	非該当	× 1.0
----	----------------	-----	-------

12	支給申請額(千円)	52,440
----	-----------	--------

ア.病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告等の写し

●公益財団法人 慈愛会 今村総合病院 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1 1番2 3号

設置主体(2018(平成30)年7月1日時点)

(項目の解説)	施設全体										
	A棟5階東 病棟	A棟5階西 病棟	脳卒中ケ アユニット	A棟6階東 病棟	A棟6階西 病棟	A棟7階西 病棟	A棟8階病 棟	C棟5階レ ディース 病棟	特定集中 治療室	B棟6階中 央病棟	
	急性期機 能	急性期機 能	高度急性 期機能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能	高度急性 期機能	回復期機 能	
設置主体	医療機関の開設者を区別別に示しています。										公益法人

病床の状況

(項目の解説)	施設全体											
	A棟5階東 病棟	A棟5階西 病棟	脳卒中ケ アユニット	A棟6階東 病棟	A棟6階西 病棟	A棟7階西 病棟	A棟8階病 棟	C棟5階レ ディース 病棟	特定集中 治療室	B棟6階中 央病棟		
	急性期機 能	急性期機 能	高度急性 期機能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能	高度急性 期機能	回復期機 能		
一般病床	許可病床	336床	42床	32床	9床	42床	42床	41床	60床	22床	10床	36床
	上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	稼働病床	336床	42床	32床	9床	42床	42床	41床	60床	22床	10床	36床
	2025年7月1日時点の予定病床数	336床	42床	32床	9床	42床	42床	41床	60床	22床	10床	36床
療養病床	許可病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	稼働病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	2025年7月1日時点の予定病床数	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床
うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	

ア.病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告等の写し

●公益財団法人 慈愛会 今村総合病院 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町1 1番2 3号

入院患者の状況(年間)

		(項目の解説)	施設全体	A棟5階東病棟	A棟5階西病棟	脳卒中ケアユニット	A棟6階東病棟	A棟6階西病棟	A棟7階西病棟	A棟8階病棟	C棟5階レディース病棟	特定集中治療室	B棟6階中央病棟
			急性期機能	急性期機能	高度急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	急性期機能	高度急性期機能	回復期機能
年間	新規入棟患者数(年間)	1年間の入院患者の状況は、平成29年7月から平成30年6月までに入院、退院した患者数を示す項目です。	9,040人	1,815人	883人	446人	1,772人	1,230人	998人	665人	462人	630人	139人
	うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者		5,620人	87人	559人	90人	1,524人	983人	911人	502人	349人	486人	129人
	うち救急医療入院の予定外入院の患者		665人	161人	27人	330人	9人	11人	2人	3人	6人	116人	0人
	うち救急医療入院以外の予定外入院の患者		2,755人	1,567人	297人	26人	239人	236人	85人	160人	107人	28人	10人
	在棟患者延べ数(年間)		102,821人	14,731人	10,312人	3,255人	12,355人	13,657人	12,478人	18,133人	4,140人	2,277人	11,483人
	退棟患者数(年間)		9,127人	1,819人	912人	442人	1,805人	1,247人	1,009人	663人	461人	630人	139人

1
8
1

ア.病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告等の写し

● 下稲葉病院 〒892-0844 鹿児島市山之口町6-3

設置主体(2018(平成30)年7月1日時点)

設置主体	(項目の解説)	施設全体	一般病棟
			急性期機能
	医療機関の開設者を区分別に示しています。	個人	

病床の状況

		(項目の解説)	施設全体	一般病棟	
				急性期機能	
一般病床	許可病床	医療機関の病床(ベッド)は、法律(医療法)の許可を得た上で設置することとされており、許可を受けた病床のうち、過去1年間に実際に患者を受け入れた病床数(※)を稼働病床数として示しています。 なお、病室の広さは患者一人あたり6.4平方メートル以上と定められていますが、平成13年3月1日以前に許可を受けた医療機関は、6.4平方メートル未満でも可とされており、医療法上の経過措置に該当する病床として扱われます。 また医療法では、病床のうち、主として長期にわたり療養を必要とする患者が入院するための病床を療養病床と呼んで区分しています。 療養病床の中には、医療保険を適用した医療サービスを提供するのではなく、介護保険を適用した介護サービスを提供する病床もあります前者は医療療養病床、後者は介護療養病床と呼んでいます。 (※)過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数と定義して算出。	60床	60床	
	上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数		60床	60床	
	稼働病床		60床	60床	
	2025年7月1日時点の予定病床数		60床	60床	
療養病床	許可病床		(※)過去1年間に最も多く患者を収容した時点で使用した病床数と定義して算出。	0床	0床
	うち医療療養病床			0床	0床
	うち介護療養病床			0床	0床
	稼働病床			0床	0床
	うち医療療養病床			0床	0床
	うち介護療養病床			0床	0床
	2025年7月1日時点の予定病床数	0床		0床	
	うち医療療養病床	0床		0床	
うち介護療養病床	0床	0床			

ア.病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告等の写し

● 下稲葉病院 〒892-0844 鹿児島市山之口町6-3

入院患者の状況(年間)

		(項目の解説)		施設全体	一般病棟 急性期機能
年間	新規入棟患者数(年間)	1年間の入院患者の状況は、平成29年7月から平成30年6月までに入院、退院した患者数を示す項目です。		523人	523人
		うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者		488人	488人
		うち救急医療入院の予定外入院の患者		35人	35人
		うち救急医療入院以外の予定外入院の患者		0人	0人
	在棟患者延べ数(年間)			2,665人	2,665人
	退棟患者数(年間)			521人	521人

ア.病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告等の写し

●公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 〒892-0824 鹿児島市堀江町17番1号

設置主体(2018(平成30)年7月1日時点)

	(項目の解説)	施設全体	地域包括 ケア病棟	6階病棟	7階病棟	緩和ケア 病棟
			回復期機 能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能
設置主体	医療機関の開設者を区分別に示しています。	公益法人				

病床の状況

	(項目の解説)	施設全体	地域包括 ケア病棟	6階病棟	7階病棟	緩和ケア 病棟
			回復期機 能	急性期機 能	急性期機 能	急性期機 能
一般病床	許可病床	145床	53床	30床	42床	20床
	上記のうち医療法上の経過措置に該当する病床数	0床	0床	0床	0床	0床
	稼働病床	144床	53床	30床	42床	19床
	2025年7月1日時点の予定病床数	145床	53床	30床	42床	20床
療養病床	許可病床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床
	稼働病床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床
	うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床
	2025年7月1日時点の予定病床数	0床	0床	0床	0床	0床
	うち医療療養病床	0床	0床	0床	0床	0床
うち介護療養病床	0床	0床	0床	0床	0床	

ア.病床稼働率算出の根拠となる平成30年度病床機能報告等の写し

●公益財団法人 慈愛会 いづろ今村病院 〒892-0824 鹿児島市堀江町17番1号

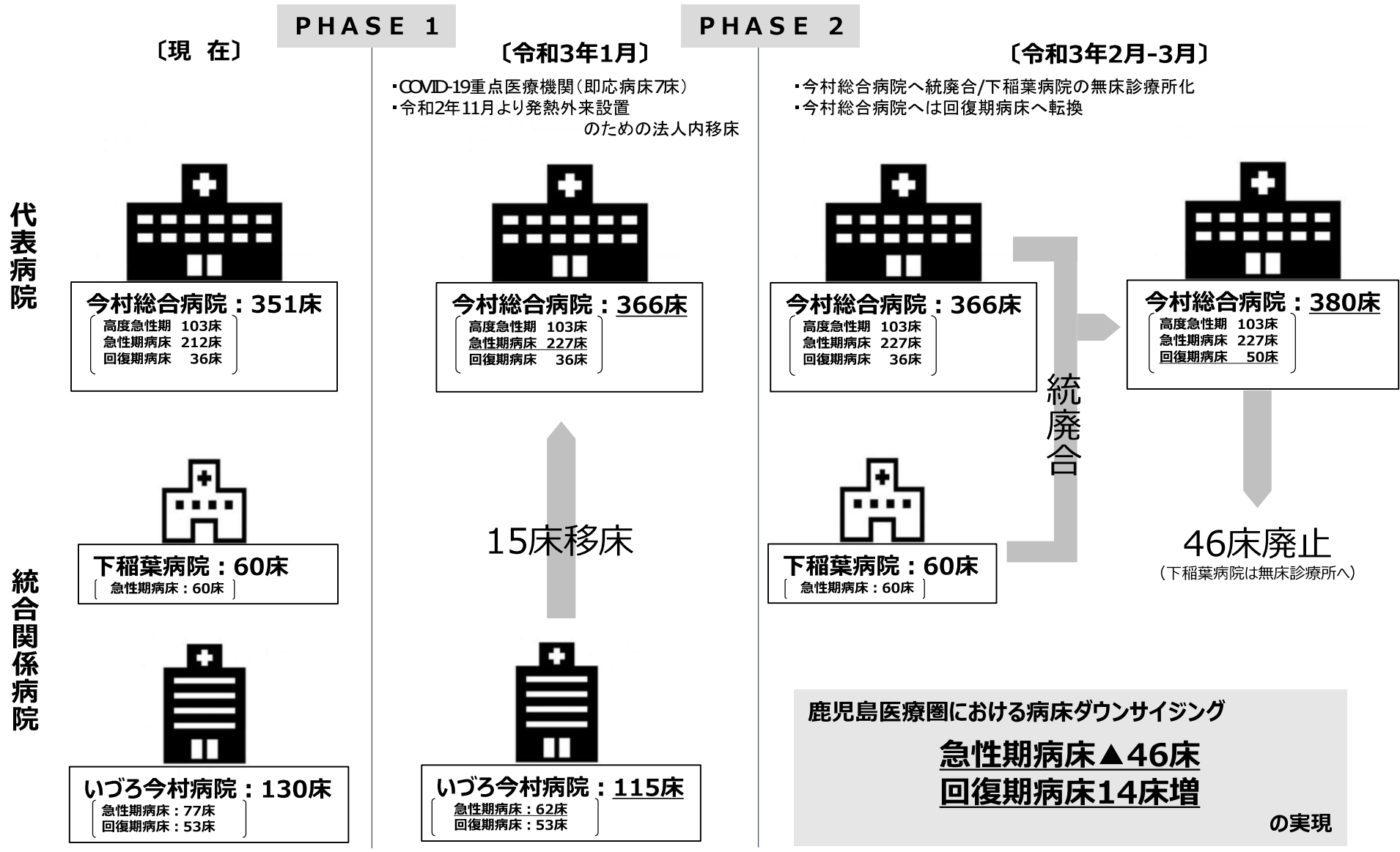
入院患者の状況(年間)

		(項目の解説)	施設全体	地域包 括ケア病 棟	6階病棟	7階病棟	緩和ケア 病棟
			回復期 機能	急性期 機能	急性期 機能	急性期 機能	
年間	新規入棟患者数(年間)	1年間の入院患者の状況は、平成29年7月から平成30年6月までに入院、退院した患者数を示す項目です。	2,374人	363人	917人	885人	209人
	うち予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者		1,792人	343人	637人	623人	189人
	うち救急医療入院の予定外入院の患者		256人	1人	112人	141人	2人
	うち救急医療入院以外の予定外入院の患者		326人	19人	168人	121人	18人
	在棟患者延べ数(年間)		32,591人	5,883人	8,994人	12,027人	5,687人
退棟患者数(年間)	2,378人	371人	918人	885人	204人		

- 12 -

イ.病床削減・統合に関するスケジュール

● 病床機能再編支援補助金の活用) 鹿児島医療圏病床ダウンサイジング)



ウ.統合に関する合意の内容（合意日、統合後の医療体制、移転を伴う場合は立地等）

●合意日（代表病院：今村総合病院、統合関係病院：下稲葉病院）

令和 2 年 12 月 29 日 合意締結

●統合後の医療体制

下稲葉病院：今村総合病院に60床移床し、速やかに廃止届を提出し、新規無床診療所として開設します。天文館地区で泌尿器疾患系のかかりつけ機能の充実を図ります。

いづろ今村病院：今村総合病院へ15床移床後も影響なく得意とする血液疾患や糖尿病疾患等に関して、これまで以上に地域医療に寄与できると考えています。

今村総合病院：いづろ今村病院より移床した15床はCOVID-19感染拡大による確保病床の為に一般病床から移床した病棟へ配備し、スポーツ整形分野や腎臓疾患などのニーズに応じた急性期治療に活用します。また、下稲葉病院より60床受入後、即時に46床を削減し、残り14床は急性期機能から回復期に転換させ、鴨池・真砂地区における脳梗塞治療後の日常生活復帰支援を必要とする回復期病床として活用したいと考えております。

●移転を伴う場合は立地等

移転や新設はございません。